

2024年2月8日
株式会社東急ストア

“物流2024年問題”解決に向けた取り組み 2月8日（木）より、店舗への配送方式を変更

株式会社東急ストア（本社：東京都目黒区）は、社会課題である“物流2024年問題”の解決に向けた取り組みの一つとして、2月8日（木）より、東急ストア・プレッセ全店舗を対象に、店舗への配送方式をより効率的な方式に変更いたします。

当社はこれまで、ドライバー不足や物流費高騰への対応、カーボンニュートラルの実現など、さまざまな課題解決に向けて取り組んでまいりました。将来に向けた食料品の安定供給維持の取り組みの一つとして、2023年10月には首都圏SM物流研究会（現SM物流研究会）に参加いたしました。

直近では、社内プロジェクトにて「物流およびサプライチェーン全体の効率化につながる配送方式の検証」を進めてまいりました。検証に一定の効果が見られたため、この度、さらなる物流課題の解決へ向け、店舗への配送方式を変更することといたしました。本取り組みにより、最大約8%の配送効率の改善を図ります。

当社は今後も、物流の2024年問題やドライバー不足解消に取り組むとともに、将来に向けた食料品の安定供給維持に向けて取り組んでまいります。

【今回の主な取り組み内容】

- ▶ 車両効率を前提とした店着時間枠を設定
納品車両を満載にしてから各店へ配送することを前提とし、配送効率を向上
- ▶ 積載率の低い便の廃止
納品車両の稼働率が向上し、ドライバーの待機時間を削減
- ▶ 納品車両台数の削減
・一部店舗（フードステーション業態）において、加工食品に休配日を設定
（現在5店舗にて実施。2024年度中に11店舗まで拡大予定）

ほか

以上